介護支援専門員実務研修
10日目

ケアマネジメントに必要な基礎知識及び技術

第7－②章
アセスメント及びニーズの把握方法

第3節　アセスメントからニーズを導き出す思考過程

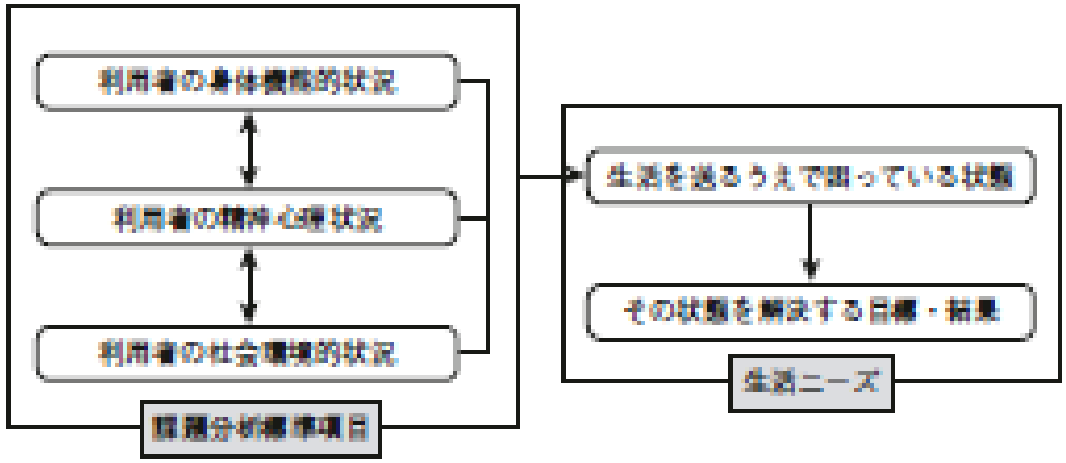
P. 445

1. 生活ニーズ

(1)生活ニーズの定義

(2)生活ニーズの記述方法

図7－②－3－1　課題分析標準項目を踏まえた生活ニーズの導き出し方



第3節　アセスメントからニーズを導き出す思考過程

P. 446

（3）自覚されていない場合

（4）利用者の意向を聞き出す

（5）生活ニーズの優先順位

アセスメントの手順(再掲)

3.問題を整理、分析・統合する

①問題を整理する　⇒「起きている問題の理解」

②情報を分析・統合

◆利用者本人の状態と環境である背景を意識

・原因は何か、何が影響しているのか

◆課題分析(アセスメント)項目の奥行き情報を把握

・いつからどのように始まったのか

◆疾患との関連、ADLとの関連、家族関係(介護力)等との関連を捉えながら分析を繰り返す

◆支援が必要な状況を明らかにするだけでなく、

利用者や家族の持つ力の強さ、可能性にも着目

生活課題(ニーズ)の抽出

◆「表現された訴え」を様々な角度から分析し“利用者にとって今必要なことは何か”を常に意識しながら、「悩み、困っていること」「問題」が対象者の生活にどのように影響を与えているのか、その程度はどの程度か、本人や家族の対処する力(内的資源)はどの程度かを見積もりながら真の「ニーズ」を理解していく.

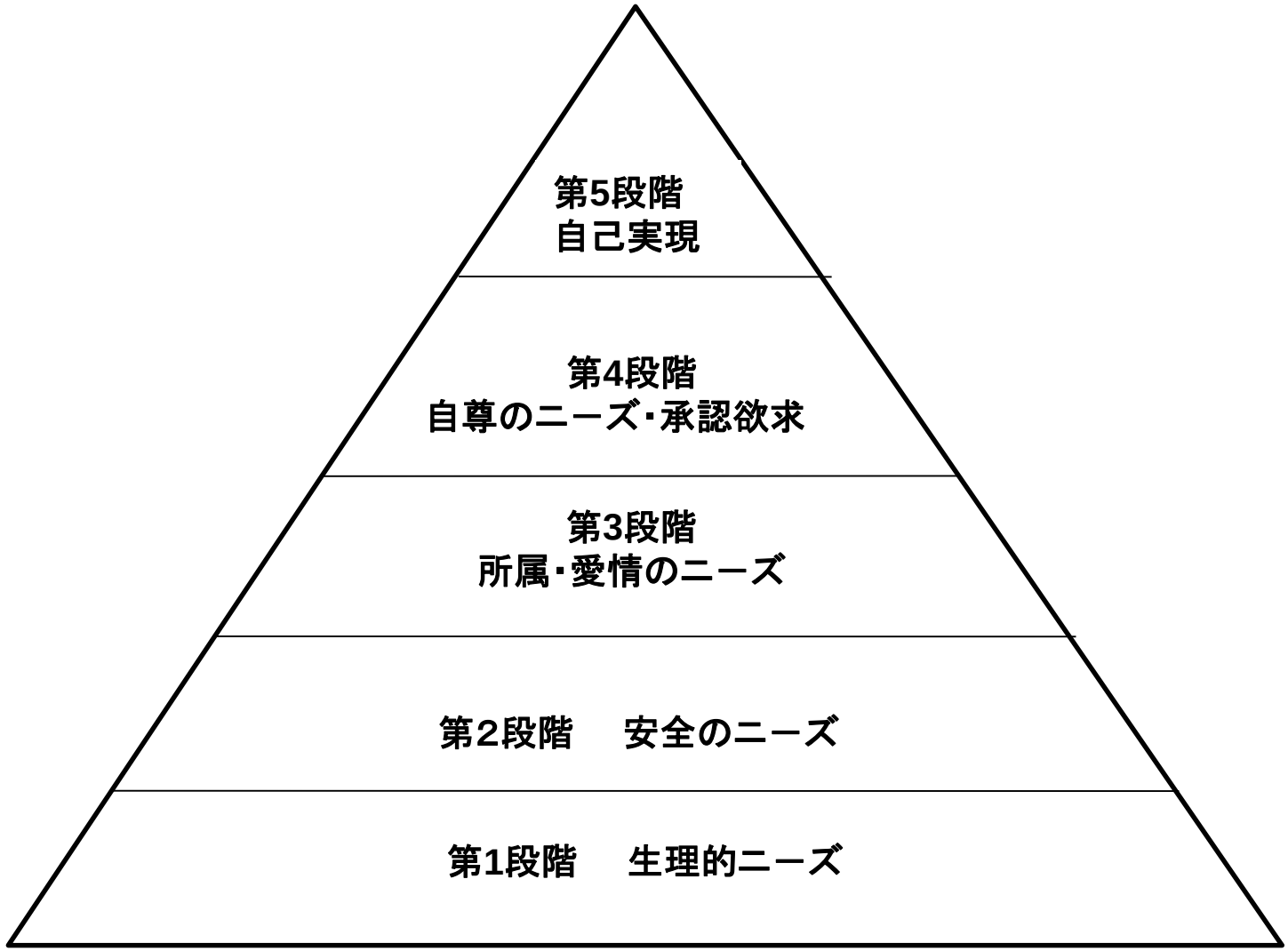


図3. A. H. マズローのニーズの階層性

生活課題(ニーズ)の抽出

1.主訴は何か

「表現された訴えは何か」

2.ニーズの優先順位

- 健康維持、生活の基盤に直結したもの
- 悪循環の原因となっていること
- 利用者が困っていると感じていること
- 援助を望んでいること
- 効果が見込まれるもの

第3節　アセスメントからニーズを導き出す思考過程

P. 450

3. アセスメントツール

（1）法的な規定を理解する

1）適切な方法

2）課題分析の実施

第3節　アセスメントからニーズを導き出す思考過程

P. 451

（2）アセスメントツールの選択

1）自分で使いやすいものを選択する

2）事業所で使用するツールを使う

3）アセスメントに使用されている様式

（3）アセスメントシート

各自の事例で確認(演習)

ステップⅣ

- 「必要な支援」から、ニーズを把握

- ニーズの優先順位を考える